

第1節 中学生の学習行動と学力

1. 学校での学習の様子と学力

①好きな教科・嫌いな教科と学力

数学の学力階層が上位の生徒ほど数学を「好き」「とても好き」「まあ好き」と回答する割合が大きい。「理科」や「美術」の好き嫌いとの関連も強い。国語でも学力階層と好き嫌いとの関連がみられるが、数学の場合ほど強くない。むしろ「社会」や「理科」と強く関連している。



あなたは、次の教科や学習の時間の勉強がどのくらい好きですか。

学校での勉強の好き嫌いは、学力階層とどのように結びついているのだろうか。数学と国語、それぞれについて関連をみてみた。図3-1-1によれば、教科の好き嫌いと学力階層はかなり明確に結びついていることがわかる。

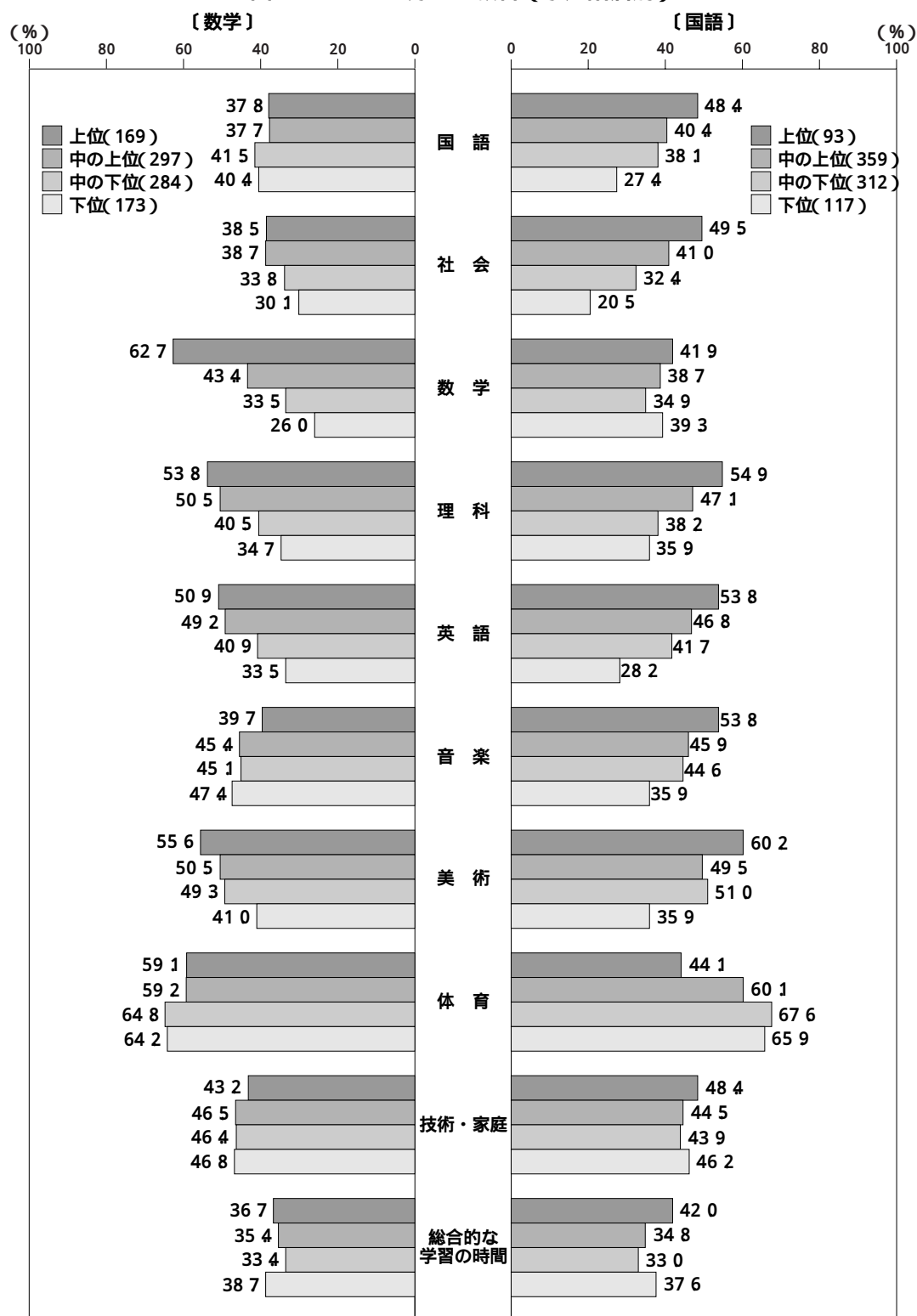
数学を「好き」「とても好き」と「まあ好き」の合計）と回答する割合は、学力上位層で大きくなっている。数学の学力上位層では、「とても好き」と「まあ好き」と回答した割合は62.7%を数えるが、下位層では3割にも満たない（26.0%）。数学の学力階層は、「理科」と「美術」の好き嫌いとも強く関連している。

国語の場合もやはり相関はみられる。たとえば、国語を「好き」とする割合は学力上位

層に比べて下位層では半分程度にとどまっている（48.4%に対して27.4%）。とはいえ、数学に比べると国語という教科での学力階層と好き嫌いとの関連はいくらか弱くなっている。他方、「社会」や「理科」の好き嫌いとは国語の学力階層との関連はかなり強い。

全体として、「体育」など一部の教科を除いて、学力階層が上位の生徒ほど各教科を「好き」と回答する割合が大きくなっている。なお、「総合的な学習の時間」の好き嫌いには、数学や国語の学力階層が直線的に関連しているとは言えない。従来の教科の「できる・できない」とは別の次元で、「総合的な学習の時間」の好き嫌いは成立しているようにみえる。

図3-1-1 好きな教科（学力階層別）



注1) 数値は「とても好き」と「まあ好き」の合計。

注2) 「総合的な学習の時間」にだけ、選択項目の中に「履修したことがない」が含まれる。

注3) () 内はサンプル数。

②授業の理解度と学力

学力階層の上位の生徒ほど、授業の理解度も高いと自己評価している。数学も国語も同様である。相関の強さはやや弱い、他の教科との関連も認められる。中学生の自己概念は学力をかなり正確に反映していると言ってよい。



学校の授業をどのくらい理解していますか(わかっていますか)。

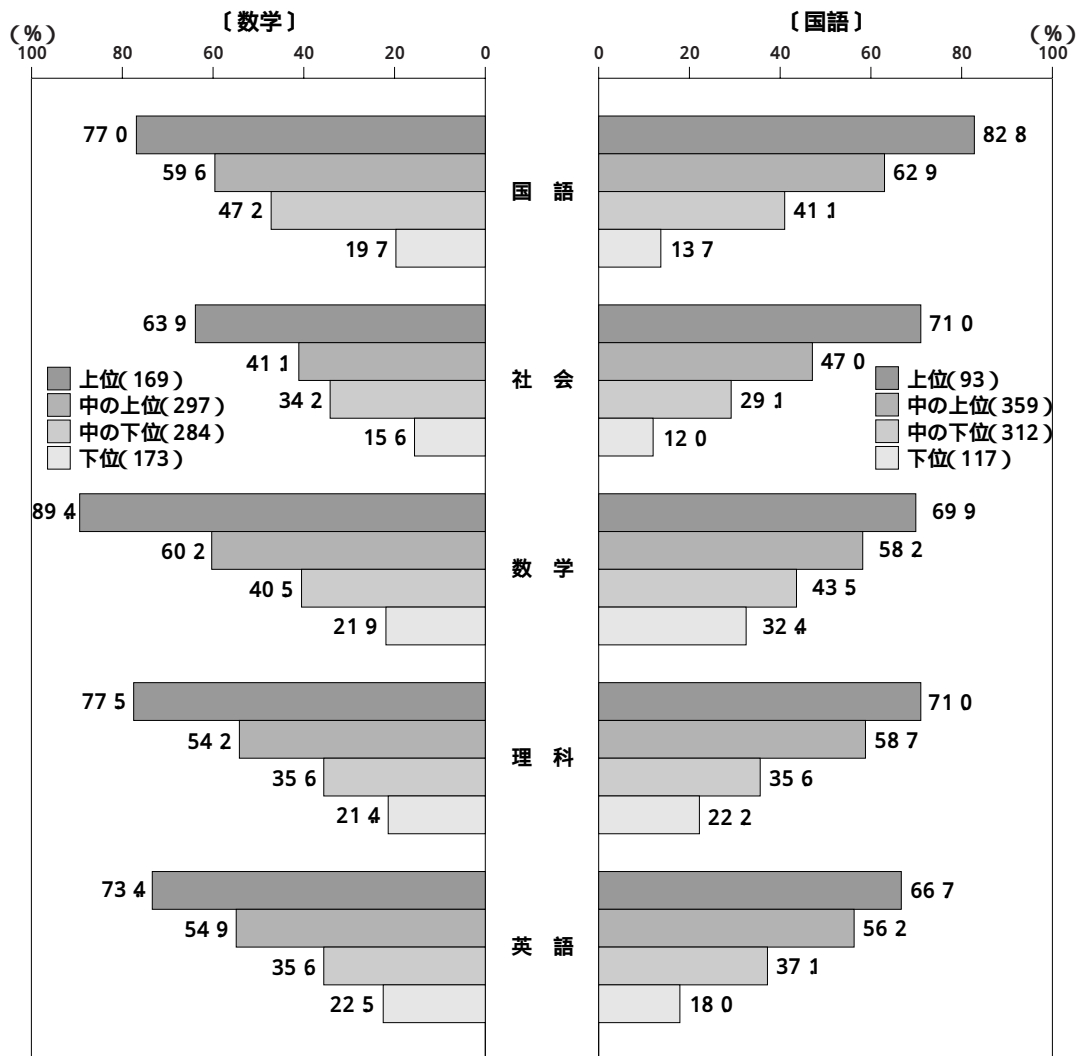
テストによって測定された学力階層と「学習に関する意識・実態調査(アンケート調査)」で把握された「授業の理解度」は、見事に対応している(図3-1-2)。

たとえば、数学の学力階層が「下位」の生徒のうち数学の授業について「ほとんどわかっている」「70%くらいわかっている」と回答した割合は21.9%であるが、学力階層が「上位」の場合には89.4%に達している。国語も

同様である。相関は、同じ教科にとどまらない。数学や国語で学力上位層の中学生は、「社会」や「理科」や「英語」でも授業の大部分を理解していると回答している。

成績や授業をめぐる中学生の自己概念は、かなりの程度正確に学力階層を反映しており、「いまどきの中学生は一般的に肯定的反応を示す傾向がある」という見方は必ずしもあてはまらない。

図3-1-2 授業の理解度（学力階層別）



注1) 数値は「ほとんどわかっている」と「70%くらいわかっている」の合計。

注2) () 内はサンプル数。

③がんばって勉強したい教科と学力

がんばって勉強したい教科は、2教科の学力階層とそれほど強くは結びついていない。数学の学力上位層ほど、「理科」を「がんばって勉強したい教科」にあげる割合が大きい。逆に「数学」は学力階層と逆の相関を示す。「体育」は、いずれの教科についても学力下位層ほど「がんばりたい」と思う教科である。

Q

あなたは、これから学校で、どんな教科や学習の時間をがんばって勉強したいと思いますか。特にがんばりたいと思うものを3つまで選んでください。

「がんばって勉強したい教科」は、数学や国語の学力階層とさほど明確に結びついていない(図3-1-3)。しかし、概して言えば、対応する教科については、できる中学生よりもできない中学生のほうが当該教科をがんばって勉強したい教科にあげる割合が大きくなっている。したがって、少なくとも中学2年生の時点では、「できない」ことで教科を学習する意欲が衰えることにはつながっていない。ただし、「理科」については、数学や国語の学力下位層ほど「がんばって勉強したい」という意識が薄くなっている。これは、「理科」が応用的な性格を持っていることに由来しているのかもしれない。もしそうだとすれば、数学と国語のある内容が応用的な教科の基礎となることを示唆していることになる。

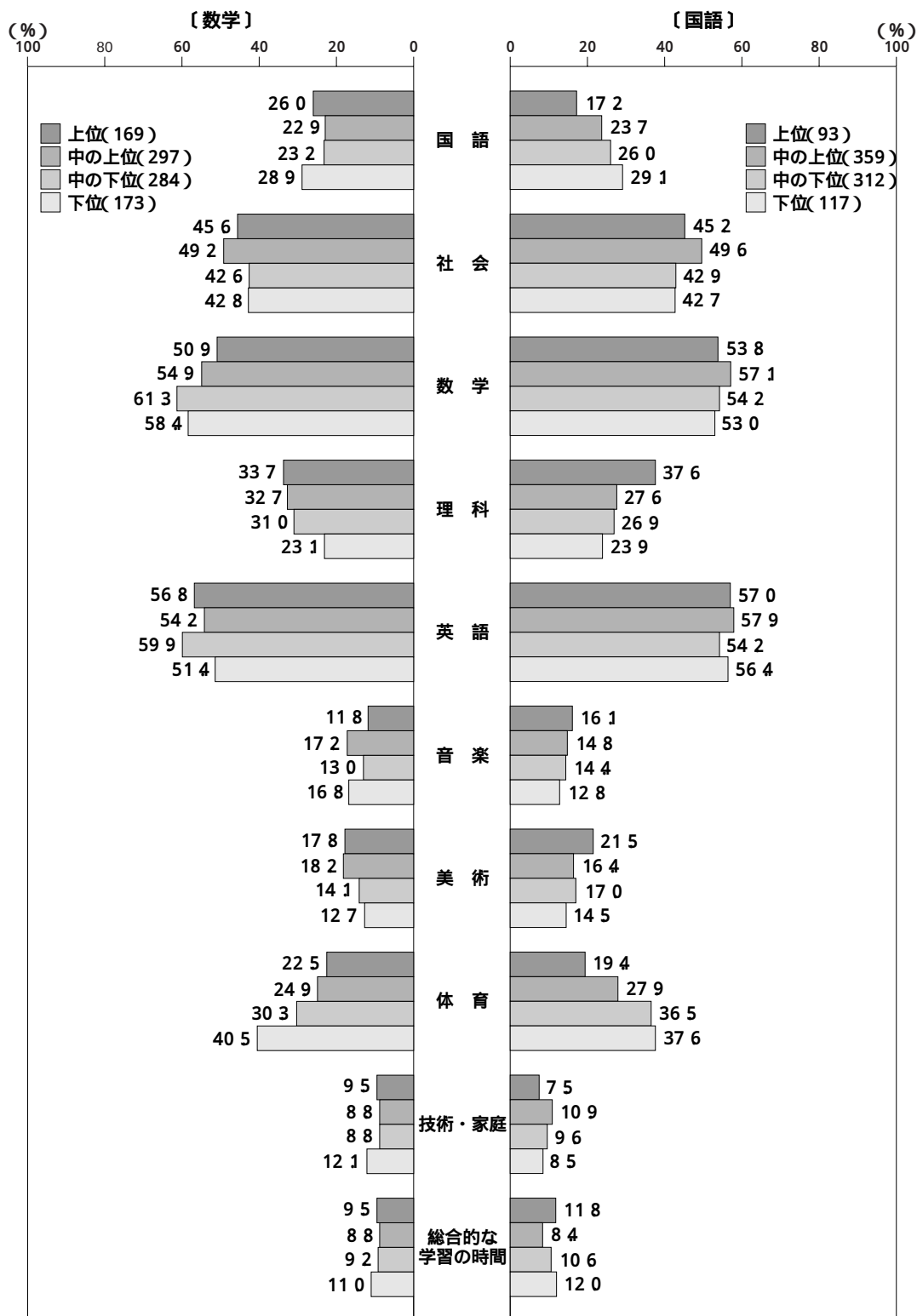
いまひとつの特徴は、数学と国語いずれに

ついても、学力下位層ほど「体育」をがんばって勉強したい教科にあげる傾向が顕著であるという点である。

数学の学力階層「上位」の場合、「体育」を「がんばって勉強したい教科」にあげる割合は、2割強にとどまっている。これに対して、学力階層「下位」にあたる中学生が同じ回答をした割合は、4割に達している。国語の場合にも、上位19.4%→中の上位27.9%→中の下位36.5%→下位37.6%とほぼ数学と似通ったパターンを示している。「体育」は、数学や国語の学力がはかばかしくない中学生にとっては、別の選択肢となっている教科でもある。

このように、学力階層との関連をみることは、教科が中学生にとってどのような意味を持っているのかを知る手がかりとなる。

図3 - 1 - 3 がんばって勉強したい教科(学力階層別)



④授業の受け方と学力

学力階層が上位の生徒ほど、板書以外の大切な話をノートに書いたり、不注意で間違えたことについてくやしく思い、間違えた問題をやり直す傾向が強まる。下位になるほど、授業を難しいと感じ、授業からの離脱行為をすることが多い。この傾向は、数学の場合にいっそう顕著である。



あなたの授業中の様子についてうかがいます。

授業の受け方は、学力階層によってどのように違っているのだろうか。あるいは、授業の受け方の違いが、どのような学力階層の違いをもたらしているのか。因果関係の方向をいずれかに定めることは困難ではあるが、授業の受け方と学力は相乗的に影響し合っていると考えてよい(図3-1-4)。

学力の高さと一貫した強い正の関連を示すのは、数学と国語それぞれについて以下の通りである。

[数学]

- 「本当は解ける問題を不注意で間違えるとくやしいと思う」
- 「テストで間違えるとくやしいと思う」
- 「授業の内容が簡単すぎると思う」
- 「テストで間違えた問題をやり直す」
- 「黒板に書かれていなくても、先生の話で大切なことはノートに書く」

[国語]

- 「本当は解ける問題を不注意で間違えると

くやしいと思う」

- 「テストで間違えるとくやしいと思う」
- 「テストで間違えた問題をやり直す」
- 「黒板に書かれていなくても、先生の話で大切なことはノートに書く」

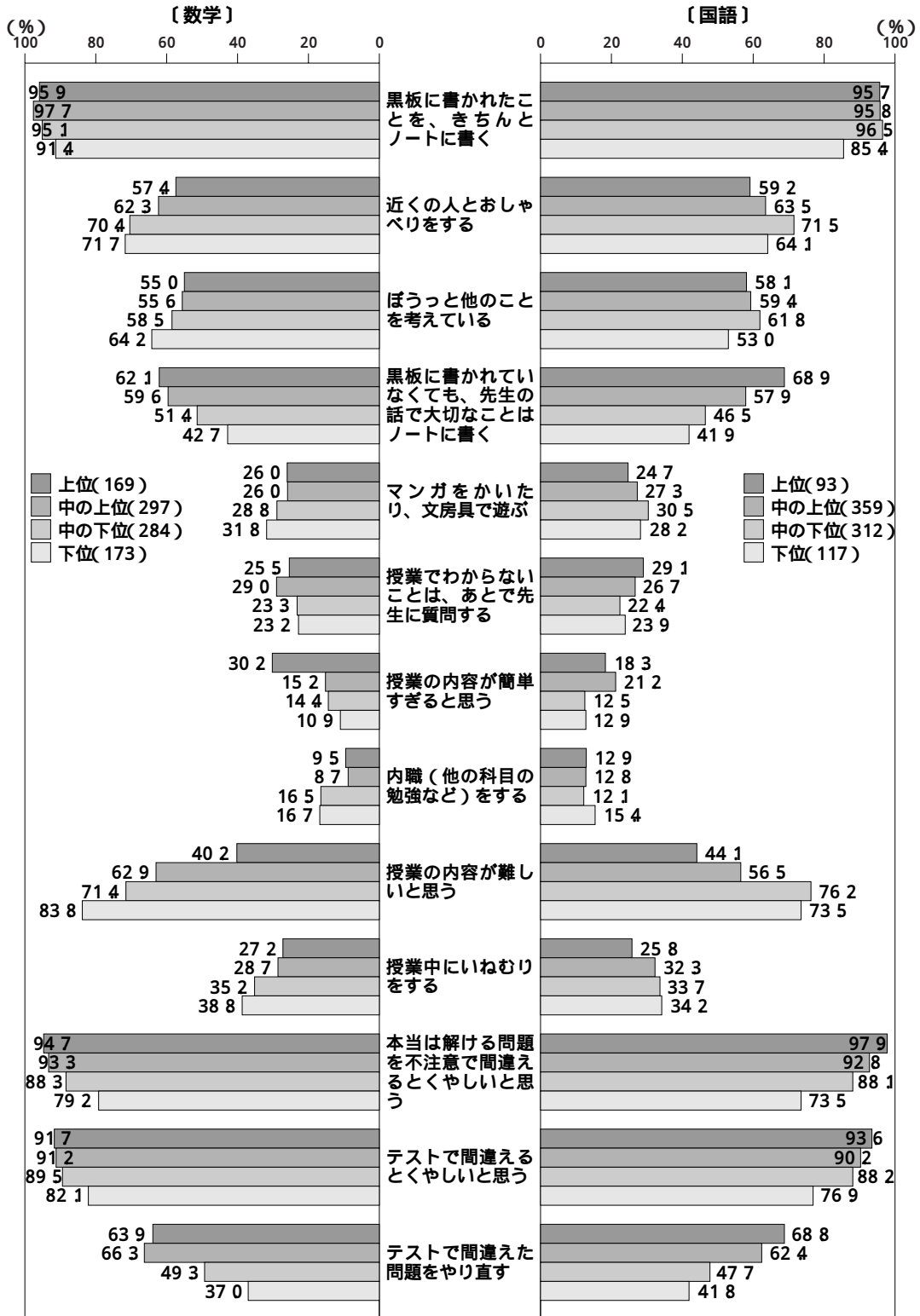
いずれの場合も、「間違い」をより積極的にとらえ対応している中学生ほど学力が高くなっていることがわかる。

次に、数学と国語のいずれについても一貫した強い負の関連を示すのは、以下の項目である。

- 「授業の内容が難しいと思う」
- 「授業中にいねむりをする」

学力下位層の中学生ほど、授業に熱心にかかわることをしないようである。授業が次第に難しく感じられるようになり、「いねむり」によってその場をやり過ごす傾向がある。ますます授業内容がわかりづらくなり、こうして絶えざる循環が始まっていくことになる。

図3-1-4 授業の受け方（学力階層別）



注1) 数値は「よくある」と「時々ある」の合計。

注2) ()内はサンプル数。

⑤好きな学校の勉強方法と学力

学校での好きな勉強方法と学力階層との間には、一貫した関連は部分的にし
かみられない。数学・国語いずれについても、学力上位層ほどドリルなどの
反復的な授業や調べ学習などが好きな者が多くなる。また、国語に限って言
えば、「学校外のいろいろな場所に行っている授業や調査」「先生が黒板を使
いながら教えてくれる授業」が好きなのは学力上位層である。



あなたは、次にあげる学校の勉強方法は、どのくらい好きです
か。

概して、「好きな学校の勉強方法」は、学
力階層とあまり目立った関連を示してはいな
い(表3 - 1 - 1)。数学と国語に共通して
関連を示したのは、「考えたり調べたりした
ことをいろいろ工夫して発表すること」であ
る。この勉強方法は学力上位層で好まれる。
「遊びのような勉強」と揶揄されることが多
いが、(やり方と方針によっても異なるが)
実際には学力上位層で好まれる傾向がある点
には留意すべきであろう。

なお、国語については、「学校外のいろい

ろな場所に行っている授業や調査」「先生が
黒板を使いながら教えてくれる授業」を好む
のは学力上位層である。一見矛盾する結果で
はあるが、授業に対する肯定的な構えがいず
れにも反映した結果であると考えられる。

さらに注目すべきは、「個人で何かを考え
たり調べたりする授業」と「自分たちでテー
マや調べ方を決めてする授業」はすべての層
にわたって低い割合にとどまっている点であ
る。従来の学習とは異なる特質がこれらの
学習方法には含まれているのかもしれない。

表3 - 1 - 1 好きな学校の勉強方法（学力階層別）

（％）

	数 学				国 語			
	上位 (169)	中の上位 (297)	中の下位 (284)	下位 (173)	上位 (93)	中の上位 (359)	中の下位 (312)	下位 (117)
先生が黒板を使いながら教えてくれる授業	<u>78.7</u>	77.8	76.8	<u>65.9</u>	<u>86.1</u>	76.9	72.7	<u>62.3</u>
友だちと話し合いながら進めていく授業	69.2	76.0	75.4	69.4	74.2	74.1	<u>76.9</u>	<u>62.4</u>
パソコンを使ってする勉強	66.8	66.7	71.1	70.6	73.1	70.8	70.9	64.1
学校外のいろいろな場所に行っている授業や調査	68.0	68.1	64.5	66.5	<u>79.6</u>	66.6	67.3	<u>55.6</u>
グループで何かを考えたり調べたりする授業	62.1	66.4	71.5	67.0	60.2	67.1	66.0	62.4
個人で何かを考えたり調べたりする授業	45.6	43.7	42.2	42.2	41.9	44.0	40.7	38.5
いろいろな人に聞きに行っている授業や調査	40.9	40.0	42.6	44.5	<u>49.5</u>	40.6	43.3	<u>37.6</u>
ドリルやプリントを使ってする授業	<u>52.7</u>	48.8	42.6	<u>33.0</u>	42.0	<u>49.9</u>	42.3	<u>36.7</u>
自分たちでテーマや調べ方を決めてする授業	36.7	40.4	41.2	38.7	38.8	40.4	36.9	33.4
考えたり調べたりしたことをいろいろな工夫して発表すること	35.0	33.7	31.0	27.2	33.3	30.7	30.2	25.7

注1) 数値は「とても好き」と「好き」の合計。

注2) 下線は10%以上差があるもの（最大値と最小値）。

注3) () 内はサンプル数。